

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



私たちの中には、毎日の生活の中で、つい嘘をついたり、ごまかしたり、お約束を守らなかったり、お友だちとケンカしてしまったりするなどの鬼のような悪い心と、やさしい、親切な、お友だちを守ったり助けたりする仏さまのような心があります。

手と手を合わせると、悪い鬼の心を、やさしい仏さまの心が「だめですよ、やさしくしましょうね」って気付かせてくださいます。

仏さまにお参りする時、お食事をいただく時、「ありがとう」って感謝する時、「ごめんなさい」って謝る時、「お願いします」ってお友だちに頼む時など手を合わせますよね。

手と手を合わせること（合掌）は、「自分の心を見つめる・お友だちなど他の人のことを思う・周りの人や目に見えないものへの感謝（ありがとう）の気持ち」なのです。

手と手を合わせる（合掌）…

ただそれだけですが、自然と心が穏やかになってきませんか？

合掌とは仏さまと出会える時間なのです。